

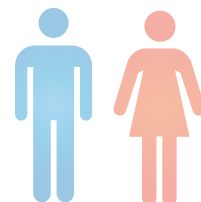


段ボールトイレ

現代日本の生活では「水洗トイレ」が当たり前です。
今回の東日本大震災では断水が起こり、水洗トイレが使えなくなるという事態が続きました。
そんな時にも役立つ「段ボールトイレ」の作り方をご紹介しましょう。

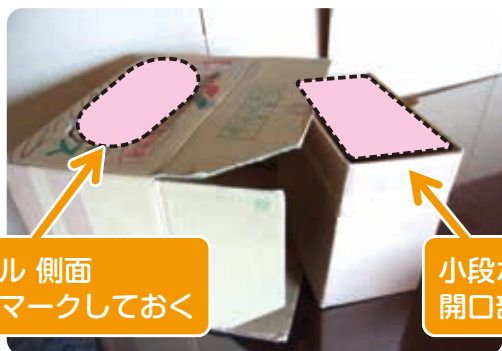
材 料

- ◆ 大段ボール(人が座れる大きさ).....①
 - ◆ 小段ボール(大段ボールの中に入る大きさ).....①
 - ◆ 段ボール(隙間を埋めるため).....適宜
- 布ガムテープ・カッターナイフ・ハサミ・
ビニール袋、新聞紙など吸収させるもの



参考：女性防災クラブ「平塚パワーズ」

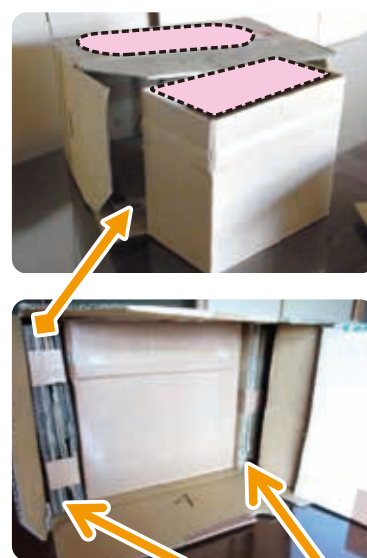
1



大段ボール 側面
開口部をマークしておく

小段ボール
開口部

小段ボールのふたを内側か外側に折り、
ガムテープで固定する。
大段ボールの側面に切り抜く部分にしるしをつけ、
中の段ボールの開口部がくるようにする。



!

強度を確保するためには、大段ボールと小段ボールの **すき間** ...
左右横側及び底の部分...に他の段ボールを詰めると補強できる。

2



小段ボールの開口部が接している側面を上にし、
カッターナイフでU字型に切り込みを入れる



ふたを上げるとこんな感じに

3



2 で作ったし字部分のふたを開け、ビニール袋（ゴミ袋など）を二重にして入れる



可能であれば、「紙オムツ」「細かく裂いた新聞紙 3 枚」などを入れる。生理用品なども利用できます。

★消臭・防臭対策のために、例えば、乾いたお茶ガラ、ペットのトイレ用の砂などを入れるのも効果的。



完成!



和式トイレのようにフタに向かって座っても、洋式トイレのようにフタを背にして座っても良い

※強度の確認を忘れずに!



使用後は、内側のビニール袋を取り出し、しっかり口を閉じてゴミとして屋外などに取り置き、ごみの収集が再開されたらゴミとして出す。

災害はいつ起こるかわかりません。
日頃の備えが大切です。

いざという時に慌てないように心構えをしておきましょう。

